

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第23週（平成30年6月4日～平成30年6月10日）

今週の注目される疾患

図は次ページに掲載

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢7人、腸管出血性大腸菌感染症13人の届出があった。四類感染症は、E型肝炎1人、A型肝炎2人、レジオネラ症4人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、ジアルジア症1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症1人、侵襲性髄膜炎菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症1人、水痘（入院例）1人、梅毒4人、播種性クリプトコックス症1人、百日咳5人、麻しん1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**咽頭結膜熱**（1.05 1.27：図1）の定点当たり報告数は前週より増加し、多い状況が続いている。保健所別では、南部（2.60）、幸手（2.00）保健所管内からの報告が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（5.12 5.07：図2）の定点当たり報告数は前週と同水準で、第20週以降大きな流行が続いている。保健所別では、春日部（6.50 9.17）保健所管内で大きく増加し、南部（12.20）保健所管内からの報告が多い。**水痘**（0.60 1.15：図3）の定点当たり報告数は、隔週で増減を繰り返しながら増加の傾向にある。保健所別では、川越市（1.13 3.63）保健所管内で大きく増加し、幸手（2.56）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**（1.27 1.29：図4）53人の報告があり、後者の報告数は多い状況である。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎**2人、**マイコプラズマ肺炎**1人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

三類感染症	細菌性赤痢	7人（類型 無症状病原体保有者7人、 病原体 <i>S. sonnei</i> 7人、推定感染地域 国外7人）
	腸管出血性大腸菌感染症	13人（類型 患者6人、無症状病原体保有者7人、 血清型 O157 12人、O91 1人）
四類感染症	E型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	A型肝炎	2人（推定感染地域 国内2人）
	レジオネラ症	4人（病型 肺炎型3人、ポンティアック熱型1人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人（血清群 不明）
	ジアルジア症	1人
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1人
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1人
	侵襲性肺炎球菌感染症	1人
	水痘（入院例）	1人（病型 検査診断例）
	梅毒	4人（病型 早期顕症 期1人、早期顕症 期2人、 無症状病原体保有者1人）
	播種性クリプトコックス症	1人
	百日咳	5人（年齢階級 10歳代1人、40歳代2人、50歳代2人）
	麻しん	1人（病型 修飾麻しん（検査診断例））

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議（感染症疫学情報担当） TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 咽頭結膜熱

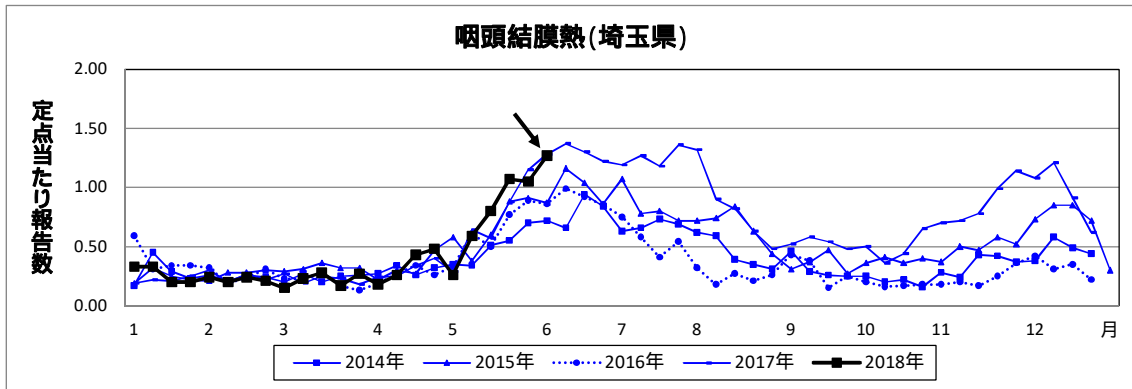


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

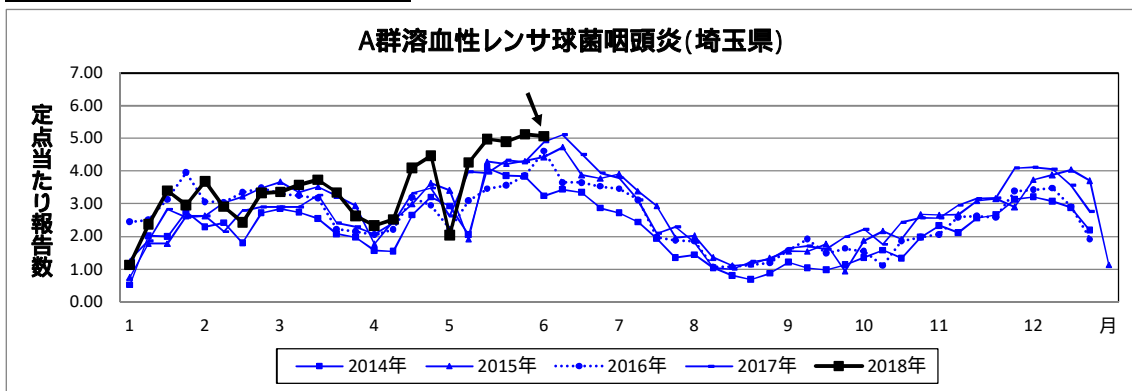


図3 水痘

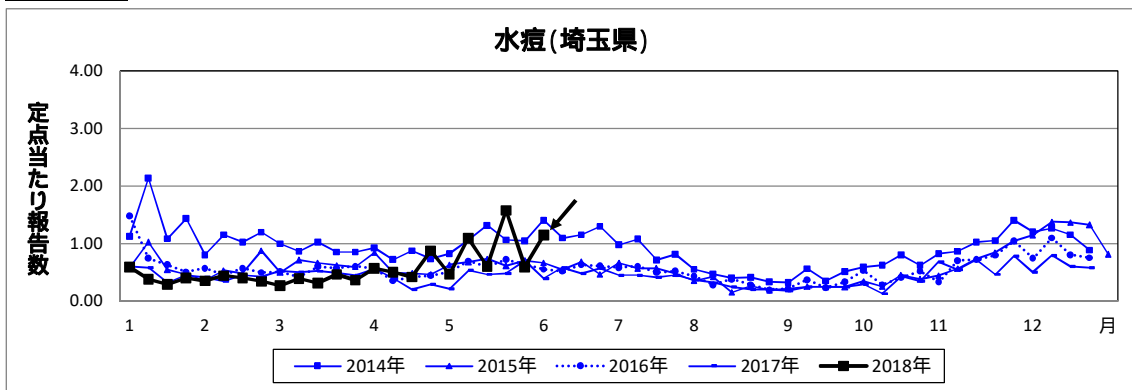
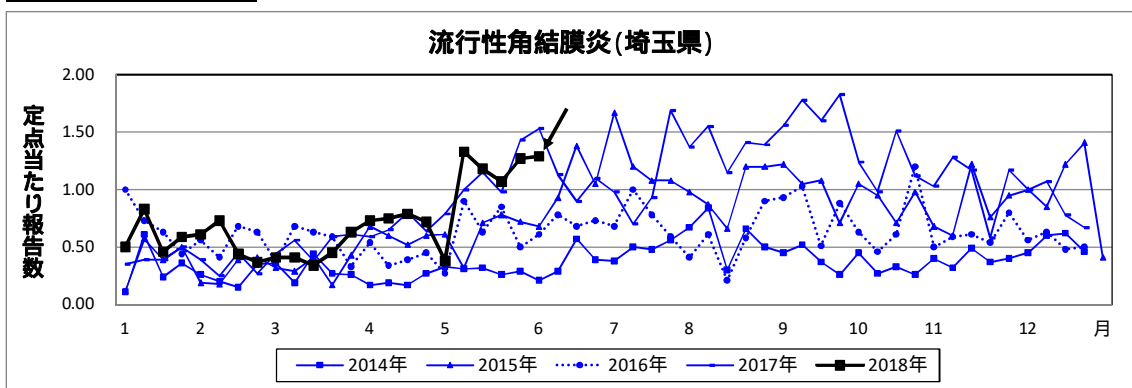


図4 流行性角結膜炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第23週)

(2018年6月12日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ		1	腸チフス		1
細菌性赤痢	7	13	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	13	48			
四類感染症					
E型肝炎	1	14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	2	16	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病		1	ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チングニア熱			レジオネラ症	4	26
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	15	侵襲性肺炎球菌感染症	1	81
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*	1	6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	24	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	4	83
急性脳炎		21	播種性クリプトコックス症	1	2
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群		16	百日咳	5	103
ジアルジア症	1	1	風しん		3
侵襲性インフルエンザ*菌感染症	1	9	麻しん	1	8
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	2	1		

累計は診断日で集計

*結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 保健所別 (第23週) 平成30年6月4日～平成30年6月10日

保健所	インフルエンザ # 1		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		頭炎		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎 # 2		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 # 3		感染性胃腸炎(入院)		インフルエンザ		
	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり			
全	10	0.04	31	0.19	205	1.27	821	5.07	1,269	7.83	186	1.15	55	0.34	47	0.29	151	0.93	25	0.15	31	0.19	0.02	1.29	1	0.53	2	0.18	0.09	2	0.18	0.09	2	0.18	-	-	-	-			
朝	1	0.04	6	0.40	25	1.67	92	6.13	147	9.80	13	0.87	9	0.60	1	0.07	21	1.40	1	0.07	7	0.47	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
鴻	-	-	1	0.08	11	0.92	61	5.08	60	5.00	22	1.83	2	0.17	4	0.33	4	0.83	-	-	2	0.17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
東	-	-	-	-	1	0.20	11	3.4	34	6.80	-	2	0.40	2	0.60	3	0.60	3	0.60	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩	-	-	-	-	-	-	1	0.33	0.33	0.33	-	2	0.67	2	0.67	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本	-	-	-	-	6	1.50	8	2.00	8	2.50	10	2.50	2	0.50	-	-	2	0.50	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊	-	-	4	0.44	4	4.78	43	14.89	134	14.89	10	1.11	2	0.22	-	-	8	0.89	1	0.11	3	0.33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加	-	-	5	0.83	5	9.17	20	3.33	12	7.00	8	1.33	1	0.17	-	-	6	1.00	2	0.33	1	0.17	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	-	-	10	1.67	10	11.50	55	11.50	42	11.50	7	1.11	7	0.50	1	0.08	9	1.00	1	0.11	1	0.11	-	11.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	-	-	2	0.22	2	2.00	63	7.00	49	5.44	23	2.56	-	-	3	0.33	1	1.00	4	0.11	4	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	4	0.67	4	4.17	25	4.17	42	7.00	6	1.00	1	0.17	-	-	4	0.67	1	0.17	1	0.17	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂	-	-	6	0.80	6	6.00	40	6.00	138	11.50	2	0.17	2	0.17	2	0.17	9	0.75	9	0.75	1	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	3	0.16	6	0.50	6	3.33	40	11.50	77	11.50	7	0.87	7	0.50	6	0.43	6	0.43	5	0.36	5	0.36	1	0.10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
狭	5	0.24	13	0.80	13	13.00	61	13.00	69	13.00	4	0.50	4	0.50	3	0.38	8	0.80	3	0.38	3	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	-	-	2	0.25	2	2.00	61	15.25	28	7.00	29	3.63	-	-	1	0.13	1	1.13	1	0.13	1	0.13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	1	0.08	8	0.50	8	8.00	28	7.00	14	3.50	10	1.40	8	0.50	7	0.88	8	1.00	8	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
越	0.08	0.08	10	0.67	10	10.00	35	10.00	175	12.38	22	2.75	13	1.00	7	0.88	19	1.46	4	0.31	4	0.31	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川	-	-	6	0.40	6	6.00	99	16.50	251	20.08	22	2.75	6	0.50	5	0.63	18	1.35	4	0.31	4	0.31	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
さい	-	-	22	1.47	22	22.00	367	16.64	930	41.36	81	10.12	22	1.82	19	1.54	5	0.67	15	1.15	15	1.15	-	163	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 6月 12日 13:00 集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第23週 平成30年6月4日～平成30年6月10日)

	年齢別																					
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	10	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	31	3	7	10	5	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	205	3	17	65	37	31	23	10	9	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	821	-	3	14	46	86	116	114	126	87	61	53	82	5	28							
感染性胃腸炎	1,269	7	79	157	133	170	140	107	101	72	50	49	100	15	89							
水痘	186	-	5	5	7	18	27	18	28	26	15	19	15	-	3							
手足口病	55	1	6	11	13	11	3	6	2	1	-	1	-	-	-							
伝染性紅斑	47	-	2	3	7	7	8	9	3	3	1	2	1	-	1							
突発性発しん	151	5	45	81	17	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	25	-	6	7	2	4	4	1	-	-	-	1	-	-	-							
流行性耳下腺炎	31	-	-	1	2	1	4	6	6	3	3	1	4	-	-							
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	53	-	-	3	1	3	6	1	-	1	1	1	1	5	4	17	3	3	-	-	-	3
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第21週 (5月21日～5月27日)

平成30年6月13日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.75)、石川県(1.02)、鳥取県(0.86)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は24例と前週と比較して減少し、12道府県から報告があった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.41)、新潟県(1.18)、北海道(1.01)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.00)、新潟県(1.70)、石川県(1.66)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(5.65)、埼玉県(4.90)、福井県(4.82)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(13.00)、香川県(12.54)、宮崎県(12.06)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は埼玉県(1.58)、山形県(1.20)、佐賀県(1.04)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.03)、大分県(7.86)、鹿児島県(5.74)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は神奈川県(0.94)、東京都(0.61)、栃木県(0.58)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.91)、鹿児島県(0.59)、青森県(0.29)である。

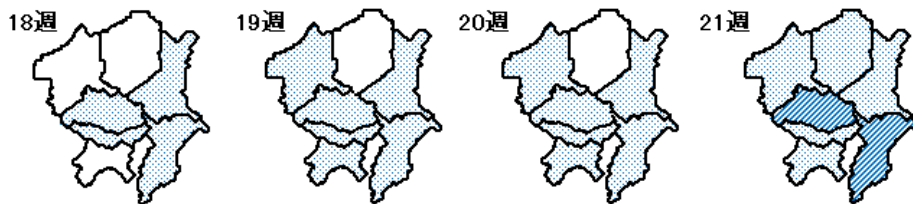
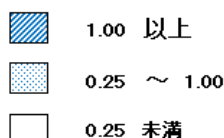
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.00)、福島県(0.57)、愛媛県(0.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。33都道府県から99例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1～4歳(56例)、5～9歳(24例)、10代(3例)、40代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第21週(5月21日～5月27日): 通巻第20巻 第21号 より

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、千葉県(1.10)、埼玉県(1.07)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



平成30年 21週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,315	220	27	18	5	29	18	66	57
	定点当たり	0.27	0.15	0.23	0.24	0.06	0.11	0.08	0.16	0.17
RSウイルス感染症	報告数	949	134	3	15	11	17	12	46	30
	定点当たり	0.30	0.14	0.04	0.31	0.20	0.10	0.09	0.18	0.14
咽頭結膜熱	報告数	2,667	775	57	16	30	174	145	204	149
	定点当たり	0.85	0.82	0.76	0.33	0.56	1.07	1.10	0.78	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,544	3,269	221	109	144	798	441	833	723
	定点当たり	3.02	3.45	2.95	2.27	2.67	4.90	3.34	3.19	3.36
感染性胃腸炎	報告数	22,808	6,280	406	149	393	1,345	787	2,017	1,183
	定点当たり	7.23	6.62	5.41	3.10	7.28	8.25	5.96	7.73	5.50
水痘	報告数	1,868	806	25	20	42	257	127	165	170
	定点当たり	0.59	0.85	0.33	0.42	0.78	1.58	0.96	0.63	0.79
手足口病	報告数	2,486	198	1	7	59	46	18	42	25
	定点当たり	0.79	0.21	0.01	0.15	1.09	0.28	0.14	0.16	0.12
伝染性紅斑	報告数	641	451	4	28	1	34	21	160	203
	定点当たり	0.20	0.48	0.05	0.58	0.02	0.21	0.16	0.61	0.94
突発性発しん	報告数	1,933	658	29	37	43	111	92	181	165
	定点当たり	0.61	0.69	0.39	0.77	0.80	0.68	0.70	0.69	0.77
ヘルパンギーナ	報告数	433	74	2	1	6	6	15	26	18
	定点当たり	0.14	0.08	0.03	0.02	0.11	0.04	0.11	0.10	0.08
流行性耳下腺炎	報告数	480	112	3	5	5	24	10	33	32
	定点当たり	0.15	0.12	0.04	0.10	0.09	0.15	0.08	0.13	0.15
急性出血性結膜炎	報告数	19	8	-	-	-	5	2	-	1
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	0.12	0.06	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	660	265	17	12	20	44	25	23	124
	定点当たり	0.94	1.27	1.00	1.00	1.33	1.07	0.71	0.61	2.43
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	6	-	-	1	2	1	2	-
	定点当たり	0.03	0.07	-	-	0.11	0.18	0.11	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	69	8	4	1	1	1	-	1	-
	定点当たり	0.14	0.10	0.31	0.14	0.11	0.09	-	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	99	7	-	-	2	1	-	3	1
	定点当たり	0.21	0.08	-	-	0.22	0.09	-	0.12	0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

5月に搬入された麻しん検体は128検体で、1例2検体から麻しんウイルスが検出されました。また、A型肝炎の1月以降の検体数は10検体で、8検体からA型肝炎ウイルスが検出され、遺伝子型は全てIAでした。

細菌検出状況

平成30年5月31日現在

病原体名	分離月	3月	4月	5月	5月分に関する備考
三類	赤痢菌	2 [2]	1 [1]		
	腸管出血性大腸菌O157	3	2	6	H検査中(VT1&2): 3, H7(VT1&2): 2, H7(VT2): 1
	腸管出血性大腸菌O26	3	1		
	腸管出血性大腸菌その他	2 [1]	3	3	O145:H - (VT1): 1 O111:H - (VT1): 1, O103:HUT(VT1): 1
四類	レジオネラ菌	1		1	<i>Legionella pneumophila</i> (SG1): 1
五類	溶血性レンサ球菌(劇症型)			1	<i>Streptococcus pyogenes</i> (T1): 1
	溶血性レンサ球菌(溶レン菌感染症)	3	3	3	<i>Streptococcus pyogenes</i> (TB3264): 1 <i>Streptococcus pyogenes</i> (T1): 1 <i>Streptococcus pyogenes</i> (T3): 1
	その他	3	4		

[]内の数値は海外感染例再掲

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

感染症法の施行規則一部改正により、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)が5月から全数把握対象疾患(五類感染症)に追加されました。

四類感染症					五類感染症							
臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数				臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数				その他のウイルス
		3月	4月	5月	累計			3月	4月	5月	累計	
E型肝炎	検体数	2	5	6	24	急性弛緩性麻痺	検体数	41	53	159	306	
	E型肝炎	2	3		7		EB			5	5	
A型肝炎	検体数		3	6	10	急性脳炎(四類以外)	検体数	14	11	19	72	
	A型肝炎		3	4	8		ライノ	1			2	
重症熱性血小板減少症候群	検体数		2		2	風しん	単純ヘルペス 1				1	麻しん(ワクチン株)(2), エンテロ nt(1), ライノ(1), インフルエンザ B(1), アデノ nt(1)
	SFTS						EB	1			3	
デング熱	検体数	1			1	麻しん	ヒトヘルペス 6	1	2	1	4	麻しん(ワクチン株)(2), ライノ(4), ヒトヘルペス 6(8), ヒトヘルペス 7(2), ヒトパルボ B19(2), アデノ nt(1), インフルエンザ AH3(1), インフルエンザ B(1), インフルエンザ C(1)
	デング						ヒトヘルペス 7	1	1	1	2	
						ロタ(A)	1	1	1	2		
						検査中			11	11		
						検査中	2	3	7	20		
						検査中			4*	4		
						検査中	25	39	128	209		
						検査中		3	2	15		
									50*	50		

nt : not typed

* : 風しん検体の検査中4検体及び麻しん検体の検査中50検体は、麻しんウイルス、風しんウイルスは陰性です。

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

平成30年5月31日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数		
インフルエンザ	検体数	266	198	112	36	10								622	RS(3), ヒトメタニューモ(2), コロナ(3), ポカ(1), ライノ(5), 単純ヘルペス 1(1), アデノ(2)
	インフルエンザ AH1pdm09	52	3	6										61	
	インフルエンザ AH3	56	59	51	26	8								200	
	インフルエンザ A				1									1	
	インフルエンザ B	151	130	52	4	1								338	
	インフルエンザ C		1											1	
	検査中					1								1	

nt : not typed

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

平成30年5月31日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数												累計	その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
		21	32	41	34	33								161	
RSウイルス 感染症	検体数	6	2	6	4	2								20	パラインフルエンザ 3(1), コロナ(2), ポカ(1), アデノ 1(1), アデノ 2(1)
	RS	5	2	5	3									15	
咽頭結膜熱	検体数	1	2	4	2	5								14	
	アデノ 1					1								1	
	アデノ 2			2	1	3								6	
	アデノ 5			1										1	
	検査中					1								1	
感染性胃腸炎	検体数	7	7	16	5	7								42	アデノ 1(1), アデノ 2(1), ライノ(1), ヒトヘルペス7(1)
	ノロ	3	4	7	1	1								16	
	サポ	1												1	
	アストロ				1									1	
	ロタ (A)			1	1									2	
	アデノ 40/41				1	1								2	
	検査中					2								2	
水痘	検体数		2	1										3	
	水痘帯状疱疹		2	1										3	
手足口病	検体数				1	3								4	
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A6														
	コクサッキー A9														
	コクサッキー A10														
	コクサッキー A14														
	コクサッキー A16														
	エンテロ A71				1	1								2	
	検査中					2								2	
伝染性紅斑	検体数				1									1	
	ヒトパルボ B19				1									1	
突発性発しん	検体数		2		1	1								4	
	ヒトヘルペス 6		1		1									2	
	ヒトヘルペス 7														
ヘルパンギーナ	検体数		1											1	単純ヘルペス 1(1)
	コクサッキー A2														
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A5														
	コクサッキー A6														
	コクサッキー A8														
	コクサッキー A9														
コクサッキー A10															
流行性耳下腺炎	検体数				2	1								3	
	ムンプス				2	1								3	
流行性 角結膜炎	検体数				2	1								3	
	アデノ 54				2	1								3	
無菌性髄膜炎	検体数	7	16	14	16	13								66	
	ライノ		1			1								2	
	EB	1		2										3	
	サイトメガロ		2											2	
	ヒトヘルペス 7	1		2										3	
	ムンプス	1												1	
	検査中					9								9	

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2018年 > 感染症の流行状況 2018年 第23週

感染症発生動向調査 2018年

- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第22週](#)

感染症の流行状況 2018年 第23週

2018年第23週（平成30年6月4日～6月10日）の要点 平成30年6月13日

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、前週より増加し、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	↓	★
水痘(みずぼうそう)	↑	★★	流行性角結膜炎	→	★★★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン